

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
1	募集要項	2	3.4 基本方針_(1) 基本的な考え方	<p>「④ 1・2・4 号炉、1号蒸気タービンの更新工事は既設の蒸気条件で性能試験を行い、3号炉、2号蒸気タービンの更新時は、全ての設備を事業者が提案する蒸気条件へ変更し、性能試験を行うものとする（実施設計後に再度性能試験方法を検討する）」とありますが、実施設計時に関東経済産業局と協議の上、ボイラ運転条件、使用前検査条件および変更届の可否等を確認し、ボイラおよび周辺機器の仕様並びに検査方法等を具体的に決定することとしていただけないでしょうか。</p> <p>例えば、竣工時の蒸気条件でボイラを運転し、蒸気タービン発電機についても同一蒸気条件にて使用前検査を実施する案について協議させていただきたいと考えています。</p> <p>【回答】 契約後、発電設備の蒸気条件等が整いしだい、関東東北産業保安監督部と協議し、その内容に基づき、受注者と調整となります。</p>
	要求水準書	2	第1編_第1章_1.6 基本方針_(1) 基本的な考え方	
2	募集要項	2	3.6 本事業の業務内容_(3) 本施設の解体に関する業務	<p>灰溶融施設の解体撤去が業務範囲とされていますが、撤去対象となる灰溶融設備の重量をご提示願います。</p> <p>【回答】 灰溶融施設の図面を別途提供可能ですので、図面を参照の上重量を見込んでください。</p>
3	募集要項	14	19.1 物価変動等の指標	<p>「土木建築工事費：公共建築工事積算基準」とありますが、具体的な指標として、「建設物価」、「建築コスト情報」、建設物価調査会「建築費指数（工場：RC造）」を採用するとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】 基本的にはご認識のとおりです。ただし、詳細については、契約前の協議とします。</p>
4	募集要項	15	19.2 建設工事費の変更方法	<p>「(変化率)：前回見直し時※1からの各指標の12か月平均値※2の変化率(%)」とありますが、「積算月での変化率(%)」としていただけないでしょうか。</p> <p>【回答】 募集要項のとおりです。</p>
5	募集要項	15	19.2 建設工事費の変更方法	<p>「※1：実際に・・・(初回の見直しの場合は、契約締結の日を指す。)」とありますが、「入札月」としていただけないでしょうか。</p> <p>【回答】 募集要項のとおりです。</p>
6	募集要項	18	別紙2 第一工場ごみ処理施設プラント更新工事における業務範囲 施設整備業務 試運転・引渡し	<p>「試運転により発生する電力の売電収入」は組合様の業務範囲となっていますが、アンシラリーサービス料金・発電側課金の負担も組合様との理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】 ご認識のとおりです。</p>
7	募集要項	18	別紙2 第一工場ごみ処理施設プラント更新工事における業務範囲	<p>「業務項目：建設」に土壤汚染対策の項目がありませんが、土壤汚染が発見された場合は、事業者が対応工事を実施し、組合様にて別途費用負担いただくとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】 ご認識のとおりです。</p>

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
8	要求水準書	2	第1編 第1章 1.(3) ユーティリティ ①電気	堆肥化施設への給電が記載されていませんが、既設と同様に200V、2回線給電を見込むとの理解でよろしいでしょうか。 また、堆肥化施設での必要容量(kW)をご教示願います。 【回答】既設は、変圧器容量200kVA(170kW)で420Vに降圧、2回線で給電し、堆肥化施設現場盤にて210V、105Vに降圧しています。必要容量については、堆肥化施設発酵棟改修工事(脱臭装置を設置した場合等)を想定した給電を提案してください。
9	要求水準書	2	第1編_第1章 _1.6_(1)基本的な考え方_②	部分引渡しの時期について、2号炉および1号蒸気タービンは令和14年度を予定と記載があります。年度毎のごみ処理量の平準化を考慮した全体工程を計画するため、2号炉および1号蒸気タービンの部分引渡しは令和15年度とさせていただけないでしょうか。 【回答】契約後の協議とします。
10	要求水準書	2 12	第1編_第1章_1.6 基本方針② 第1編_第5章 性能保証	共通設備に関する部分引渡しの記載がありませんが、単体機器試験または性能試験後に部分引渡しとの理解でよろしいでしょうか。 ①脱臭装置は全炉停止時に性能試験(表1_15 悪臭の脱臭装置出口)を実施する、②可燃性粗大ごみ破砕機は個別に行う性能試験で確認する。 また、他設備・機器・配管も同様な考えで部分引渡しが可能との理解でよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。
11	要求水準書	3	第1編_第1章_1.8 本事業における留意点_⑤	「除外した工事のうち、・・・補強や補修等の必要が生じた場合は、適切な工事を行うものとする。」とありますが、生じた追加工事に伴う費用は協議いただけるとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】要求水準書に記載のとおりです。詳細については、契約後の協議とします。
12	要求水準書	7	第1編_第2章_2. 環境影響評価書の遵守	「ハヤブサの営巣地近辺に仮設の足場を設置する場合は、非繁殖期に工事を実施する」とありますが、施設周囲の仮設工事(事務所設置、地盤整備、仮囲い等)はこれに該当せず、着工可能との理解でよろしいでしょうか。 【回答】要求水準書には仮契約後とありますが、詳細については契約後提示します。
13	要求水準書	7	第2編_第2章_3. 許認可申請	既設建屋流用のプラント更新工事に伴い、既設施設の各届出や申請書等の関係書類の写しが検討や許認可申請に必要なため、関係書類をご提供願います。 例： ・河川放流関係 ・ボイラ・蒸気タービンの工事計画書関係 ・消防関係 【回答】資料の閲覧は可能です。
14	要求水準書	11	第1編_第4章_1. 試運転_(1)	「各炉とも、空運転、乾燥焚及び各設備の引渡し性能試験を含め、約150日とする。」と記載があります。2号炉および3号炉更新時は、蒸気タービンも更新するため、約150日必要と考えますが、1号炉および4号炉更新時は、短縮できると考えるため、事業者にて日数を提案してもよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
15	要求水準書	11	第1編_第4章_2. 運転指導	<p>「事業者は、第一工場に配置される職員に対し、施設の円滑な操業に必要な機器の運転管理及び取扱い（点検業務含む）について、あらかじめ監督員の承諾を得た教育指導計画書に基づき、必要にして十分な教育と指導を行う。」とありますが、第一工場に配置される職員の費用は組合様負担との理解でよろしいでしょうか。また、配置される職員が試運転期間中、部分引渡し・正式引渡後と同様に実際に操作・操炉もするとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】本事業は、稼働しながら更新を行うため、運転を行う事業者への教育費用、引渡しまでにかかる操作・操炉費用については、事業者負担とします。また、教育を受けた事業者が引き継ぎ、操作・操炉するものとします。</p>
16	要求水準書	11	第1編_第4章_3. 試運転及び運転指導に係る費用	<p>「設計段階で通常想定出来る共通用役については、事業者負担を基本とする。」と記載があります。試運転に係る共通用役は事業者負担、通常運転に係る共通用役は組合様負担との理解でよろしいでしょうか。</p> <p>すなわち、通常のごみ焼却運転では必要のない乾燥焚きにかかる燃料費用やバグフィルタのプレコートなどの費用が事業者負担との理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】ご認識のとおりです。</p>
17	要求水準書	12	第1編_第5章 性能保証	<p>正式引渡しまたは部分引渡しした設備・機器の維持管理は組合様所掌との理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】ご認識のとおりです。</p>
18	要求水準書	12	第1編_第5章 性能保証	<p>予備性能試験および引渡し性能試験は、各焼却炉および各蒸気タービンの更新毎に実施することから、性能試験項目は性能保証項目（表1）全てではなく更新した設備に対してのみ性能試験を実施するとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】ご認識のとおりです。ただし、全ての設備が稼働した後にしか確認できない性能試験については、全ての設備稼働後に行うこと。</p>
19	要求水準書	16	第1編_第5章_3. 引渡し性能試験_表1 性能保証項目	<p>電気事業法に基づく蒸気タービンおよび発電機の使用前安全管理検査は、事業者が提案した蒸気条件で実施するとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>【回答】ご認識のとおりです。</p>
20	要求水準書	18	第1編_第6章_1.2 施工の不適合責任	<p>設計の契約不適合責任期間は引渡し後10年（ただし、制御系等のソフトウェアについては永年）とありますが、「永年」とは法制度および技術実務の両面から10年が上限と考えます。責任期間を特定した合理的整理の検討をお願いします。</p> <p>【回答】ソフトウェアについては、施設稼働期間中とします。</p>

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
21	要求水準書	23 29	第1編_第7章_3.5 搬出入車両条件 第2編_第1章_7. 堆肥化施設発酵棟 改修工事(6)	以下の車両の諸元（全幅 x 全長 x 全高、最小回転半径、ホイールベース長、ダンプ高さ等）またはメーカーおよび型式等 がわかる資料をご提示願います。 <搬入車両> ・6 t パッカー車 ・脱水汚泥 最大 10 t トラック <搬出車両> ・10 t トラック <メンテナンス車両（薬剤）> ・10 t トラック <外部搬出する車両> ・22 トン車 10 トン積載 【回答】搬入・搬出車両、メンテナンス車両、外部搬出する車両は、既設建築物内を通過でき、既設台貫に載せること ができる車両です。
22	要求水準書	29	第2編_第1章_7. 堆肥化施設発酵棟 改修工事	可燃ごみ一時保管場所での可燃ごみのハンドリング（作業員含む）および搬出車両に積み込むために必要な作業用重機 の購入・リース費用、燃料費、維持補修費の所掌は組合様との理解でよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。
23	要求水準書	29	第2編_第1章_7. 堆肥化施設発酵棟 改修工事	堆肥化施設の CAD データをご提供願います。 【回答】CAD データはありませんが、完成図書の閲覧は可能です。
24	要求水準書	29	第2編_第1章_8. 敷地周辺の臭気対 策等	「フィルターや活性炭等の消耗品は、事業者の負担とする」とありますが、組合様の負担としていただけないでしょ うか。脱臭装置はごみピットで貯留しきれず、外部搬出が必要になった時に使用します。すなわち、稼働の要否は発生ご み量に影響するため、事業者で活性炭使用量などを見込むことは困難です。据付後の全炉停止時に実施する性能試験を もって、部分引渡し済みとし、維持補修費の所掌は組合様との理解でよろしいでしょうか。 【回答】脱臭装置の用途は全炉停止期間中に使用するものであり、本事業の一環となります。そのため、更新期間中 における活性炭等の消耗品は事業者負担とします。脱臭装置の引渡し後の脱臭装置の維持補修費は組合所掌とします。
25	要求水準書	32	第2編_第1章 1.6 電動機	「0.75kW 以上の電動機は IE4 以上の効率を目指す」とありますが、以下の理由により IE3 にてご了承願います。 ・効率は現状の電動機 JIS 規格対象外です。また、現時点では JIS 規格化の具体的な動向も確認されていません。 ・建築設備およびプラント用パッケージ装置では対応が困難です。 ・電動機鉄心に必要なレアアースが入手困難で納期の予測が困難です。 ・専用インバータが必要となるため、制御盤が大型となります。 ・90kW 超がカタログになく対応不可です。 【回答】実施設計時の協議事項とします。

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
26	要求水準書	33	第2編_第2章_1.8 災害対策	「燃料及び薬品類については、災害時に補給が出来ない場合でも運転が継続できるよう、原則として7日分以上を備蓄すること。」とありますが、既設建屋流用の観点より、荷重条件や設置エリアから既設容量確保が基本思想となります。プラント設備主要仕様および要求水準書の各機器の貯留容量に従い7日以上確保し、既設建屋条件も考慮し可能な限り容量を確保するとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】要求水準書に記載のとおりです。
27	要求水準書	35	第2編_第2章_2.5 可燃性粗大ごみ破砕設備	可燃性粗大ごみ破砕設備は、撤去から更新完了まで約1年間要しますが、更新完了までの可燃粗大ごみは、別途外部搬出されるとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】破砕設備更新工事期間中の可燃性粗大ごみについては、組合にて対応します。
28	要求水準書	39	第2編_第2章_4.1 ボイラ本体（過熱器、エコノマイザ含む）	部分引渡しを行うボイラについては、既設の蒸気条件（3.5MPa・345℃）で運転ができる構造とありますが、具体的には実施設計時に関東経済産業局に確認しながら、ボイラ運転条件、使用前検査条件、その後の変更届条件などを協議し、ボイラ・周辺機器仕様および検査方法などを具体的に決定していくとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】稼働しながら設備更新を行うため、既設蒸気条件（3.5MPa・345℃）から提案する蒸気条件の範囲で運転可能となるよう設計・施工してください。また、使用前安全管理検査等については、質問1の回答のとおりです。
29	要求水準書	42	第2編_第2章_5.1 集じん設備	「なお、必要時は、バグフィルタからの反応生成物の搬送ラインとは別系のラインで、搬出することも可能な構造とすること。」とありますが、設備の搬出構造を検討するために、必要時とはどのような状況かご教示願います。また、別系ラインの搬出量は、発生量全量の考え方でよいでしょうか。 【回答】対象設備の更新時に支障がないよう提案してください。
30	要求水準書	45	第2編_第2章_7.1 計画概要	給排水設備はすべて屋内設置と記載がありますが、高置水槽、機器冷却塔およびその他付属機器・配管は既設同様屋外となります。冬季凍結が懸念される箇所がある場合は、保温およびヒータなど必要な凍結防止対策を行うことで、既設同様屋外設置とさせていただけないでしょうか。 【回答】現在、屋外に設置している機器・配管等については、凍結防止対策を施したうえで、既設同様に屋外設置を可としています。また、冷却塔のブロー水については、排水処理設備にて処理してください。
31	要求水準書	45	第2編_第2章_7.3 給排水設備	給排水設備「水槽（コンクリート製）は既設流用とし、現地調査を行った上で必要に応じて補修対策を施すものとする。また、水槽を貫通している配管は更新すること。」とありますが、補修箇所の確認・水抜き・清掃・補修作業を行うにあたり、水槽が利用できない期間が一定期間発生します。機器冷却水槽のように停止できない水槽もあり、一定期間の施設停止が必要になることが想定されます。年1回の共通停止期間の1カ月程度で補修できる内容を提案するとの理解でよろしいでしょうか。 具体的な内容およびスケジュールは、実施設計時に確認・補修内容およびスケジュールなどを考慮し協議させていただきます。 【回答】要求水準書のとおり実施できる工事方法を提案してください。
32	要求水準書	46	第2編_第2章_8.5 風道	「風量調節用ダンパはルーバ形、遮断用ダンパは密閉形を原則とすること」とありますが、口径によってはバタフライ形の方が適していることから、口径に適した形式を事業者にて提案してもよろしいでしょうか。 【回答】事業者提案を可とします。

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
33	要求水準書	47	第2編_第2章_8.8 煙突	煙突（内筒鋼板製外部保温各炉独立、外筒鉄筋コンクリート製意匠煙突（展望台付き））は、プラント更新の観点から内筒のみ更新するとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。
34	要求水準書	48	第2編_第2章_9. 灰出し設備	「焼却炉からのボトムアッシュは、キレート剤を添加」とありますが、既設におけるキレート剤の時間当たりの添加量、または灰量に対する添加率をご教示願います。 【回答】添加率年平均は、令和7年度実績で0.31%、令和6年度実績で0.31%、令和5年度実績で0.32%となっています。
35	要求水準書	49	第2編_第2章_10.2 蒸気復水器	既設高圧蒸気復水器は、更新期間中の2～4号炉の既設焼却炉の立上げ下げおよび各蒸気タービンの更新時に活用しますが、更新後の施設では不要なため、3号炉および2系蒸気タービン更新時に撤去するとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】2系蒸気復水器の引渡し後の撤去とします。
36	要求水準書	51	第2編_第1章 11.3 受変電設備	「監視制御方式は、中央制御室のモニタ及び電力中央監視盤による遠隔監視制御方式」ありますが、別途計装設備のDCSにて対応し、電力中央監視盤は不要とさせていただけないでしょうか。 【回答】要求水準書に記載のとおりです。（電力中央監視盤の更新）
37	要求水準書	56	第2編_第2章_13.3 工場説明用調度品	(2) 展示物（参考）において、11項目の参考事例の提示がありますが、この参考例をベースにすべての項目を採用するのではなく、設置スペースを考慮して提案するとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。
38	要求水準書	62	第2編_第3章 2.1_(4) 水槽類（コンクリート製）の改修工事	「・・・清掃を行い、耐薬品ライニングの更新を行うこと」とありますが、水槽の塗装仕様は、薬品を扱わない水槽もあり、塗装仕様も耐薬品に限定するのではなく、各流体に適した塗装・ライニングを提案するとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。
39	要求水準書	62	第2編_第3章 2.1_(4) 水槽類（コンクリート製）の改修工事	「・・・清掃を行い、耐薬品ライニングの更新を行うこと。」とありますが、45頁には給排水設備「水槽（コンクリート製）は既設流用とし、現地調査を行った上で必要に応じて補修対策」とあります。 補修箇所の確認・水抜き・清掃・補修作業を行うにあたり、水槽が利用できない期間が一定期間発生します。機器冷却水槽のように停止できない水槽もあり、一定期間の施設停止が必要になることが想定されます。年1回の共通停止期間の1カ月程度で補修できる内容を提案するとの理解でよろしいでしょうか。 なお、具体的な内容およびスケジュールは実施設計時に確認・補修内容およびスケジュールなどを考慮し協議させていただきます。 【回答】質問31の回答のとおりです。
40	要求水準書	70	第2編_第4章 _4.1_(1)_③解体ヤードの設置	解体ヤードの出入り口は「外部鋼製シャッター」と記載がありますが、外壁部分は「枠組み足場、防音シート」、屋根は「テントまたはパネル」と記載があります。出入り口部は「シートシャッター」も含めて、事業者にて提案してもよろしいでしょうか。 【回答】解体ヤードの設置場所等を含め契約後の協議事項とします。

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
41	要求水準書	全般	—	要求水準書等で示される機器名称が既設機器名称と異なる場合、既設機器を運用しながらの更新であることを考慮し、既設機器名称に統一することは可能でしょうか。 【回答】可とします。
	プラント設備 主要仕様			
42	プラント設備 主要仕様	17	3 窒素酸化物低減装置	設計仕様がアンモニア水を想定した記載ですが、高効率の無触媒脱硝設備の採用にあたりアンモニアポンペを提案してもよろしいでしょうか。 また、提案可能な場合、記載項目を事業者にて変更したうえで提案書を提出してもよろしいでしょうか。 【回答】事業者提案を可とします。
43	プラント設備 主要仕様	25	6. 給排水設備	無機凝集剤として硫酸バンドが指定されていますが、既設フローに併せて PAC を使用してもよろしいでしょうか。 【回答】事業者提案を可とします。
44	プラント設備 主要仕様	39	3 蒸気だめ	高圧蒸気だめの主要部材がボイラ及び圧力容器用炭素鋼材と指定ありますが、事業者にて豊富な採用実績を有する STPT や STPG など材質を提案してもよろしいでしょうか。 【回答】事業者提案を可とします。
45	プラント設備 主要仕様	36	2 飛灰処理設備 (2)ダストバンカ	ダストバンカおよび架構については、共通系であり運転しながらの更新工事が出来ないため、既設を流用してもよろしいでしょうか。 【回答】性能及び交付要件を確認して判断します。
46	参考資料 添付 1	1	仮設計画図	ゆりのき荘来場者専用駐車場（5 台、25 台、39 台）の整備は別途工事との理解でよろしいでしょうか。 【回答】ご認識のとおりです。
47	参考資料 添付 1	1	仮設計画図	地盤改良部分の設備埋設管有無を確認できる資料がありましたらご提示願います。 万が一、入札時にすでに埋設状況が確認できず、工事の際に設備埋設管が確認された場合は、費用および工期について、協議いただけるとの理解でよろしいでしょうか。 【回答】埋設管については、工事着手前に事業者にて関係機関にご確認ください。予期せぬ地下埋設物が確認された場合は協議事項とします。
48	参考資料 添付 1	1	仮設計画図	外構仮設の地盤改良やアスファルト等は工事完了時、原状回復としますが、樹木の植樹の可否をご教示願います。また植樹が必要な場合、どの程度の高さの樹木が必要かご教示願います。 【回答】原状回復を基本とします。詳細については、契約後の協議とします。

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
49	参考資料 添付 7	2	土木建築設備工事 一覧	内訳 No. 2 「R 階建築設備スペース床防水_5 階」とありますが、工事範囲が不明確なため、詳細をご教示願います。 【回答】 5 階復水器スペースです。（内訳 No. 2 と No. 5 が重複）
50	参考資料 添付 7	2	土木建築設備工事 一覧	内訳 No. 6 「PH1 屋上防水」と記載がありますが、東面屋上と見学者スペースの上部 3 面との理解でよろしいでしょうか。 【回答】 8 階からタラップが上がったところが PH1 です。
51	参考資料 添付 7	2	土木建築設備工事 一覧	内訳 No. 9 「銅板屋根」は更新とありますが、銅板の更新ではなく釘の打ち増しとの理解でよろしいでしょうか。ただし、樋、入隅、破損個所などの部分補修は事業者範囲に含みます。 【回答】 銅板屋根は更新とありますが、補修を認めます。屋根を開口する場合は、開口部は更新、非開口部は補修と考えています。補修方法については、契約後の協議とします。
52	参考資料 添付 7	2	土木建築設備工事 一覧	内訳 No. 14・15 の「外壁_石張り」は補修とありますが、工事範囲は外壁 1 階から 2 階笠木および 2 階から 3 階の石張り箇所のシーリング補修（※一部石破損部補修含む）との理解でよろしいでしょうか。 【回答】 劣化状況の調査及び補修方法について、契約後の協議とします。
53	参考資料 添付 7	2	土木建築設備工事 一覧	内訳 No. 17 の「屋上ベンチレーター」について、「更新・補修・定修」の記載がありませんが、事業者提案との理解でよろしいでしょうか。 【回答】 屋上開口の復旧に併せて更新とします。
54	参考資料 添付 7	5	土木建築設備工事 一覧	内訳 No. 236・237 の「放水銃ポンプ、放水銃」は更新とありますが、既設の台数をご教示願います。また、放水銃およびポンプの定期点検記録を閲覧させていただくことは可能でしょうか。 【回答】 放水銃用ポンプ 1 台、水/泡自動消火設備用放水銃 2 台、手動用放水銃 2 台。組合が実施している定期点検記録については、閲覧可能です。
55	参考資料 添付 7	11	土木建築設備工事 一覧 5 階プラットホーム	内訳 No. 749 の「5 階プラットホーム_アスファルト防水押さえコンクリート_床」は更新と記載があります。一方で、要求水準書 P34 2.2 プラットホームには床面の補修と記載があります。後者を正として計画してよろしいでしょうか。 【回答】 要求水準書に記載のとおりです。
	要求水準書	34		
56	参考資料 添付 7	11	土木建築設備工事 一覧 5 階プラットホーム	内訳 No. 749 に 5 階プラットホーム、ごみ投入口床の SUS 鋼板の更新がありませんが、更新は不要との理解でよろしいでしょうか。 【回答】 更新とします。

番号	資料名	頁数	項目	質問・回答
57	参考資料 添付7	13	見学者動線上の建 具	建具の更新について、「見学者動線上のものは意匠性に配慮したものとし、それ以外の管理用のものについては既存と同等の仕様にて更新」とありますが、土木建築設備工事一覧内訳№.914～917に鋼製建具、アルミ建具、木製建具は工事対象外と記載があります。どちらを正と理解すればよろしいでしょうか。 【回答】後者を正とし、工事対象外としてください。ただし、要求水準書 P3 のとおり、除外した工事のうち、点検結果に基づき、補強や補修等の必要が生じた場合は、協議事項とします。
	要求水準書	62		

※ 質問数に応じて表の行を追加してください。

※ 番号欄には、連番にて質問ごとに番号を記載してください。（半角アラビア数字）

※ 資料名欄には、質問の対象となる書類の名称を記載してください。

※ 頁数欄には、質問の対象となる箇所が始まるページ番号を記載してください。

※ 質問欄には、一つの質問を記載してください。